

# 神樹の会会報

No. 32  
平成6年5月19日

発行所：神樹の会  
発行人：水野 整一

(事業所)

本部事務所（六甲作業所内）  
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533  
六甲作業所、東部デイサービス  
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533  
明芳デイサービス  
〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4 ☎735-8835  
垂水作業所  
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675  
福祉の店“いたやど”  
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

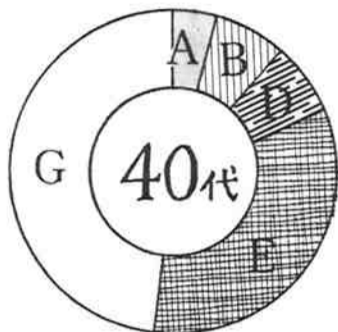
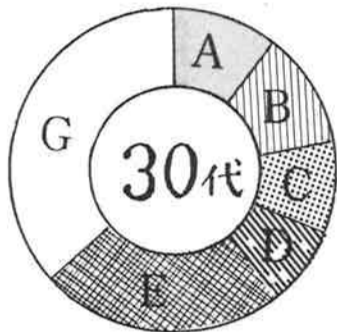
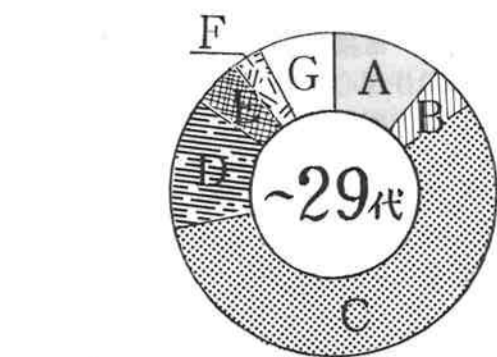
## 時の流れの中で



神樹の会会員の中、十八才以上の障害をもつ人は三百十九名である。最年長五十一才から今春卒業の十八才の方々の生活は多岐にわたっている。この度編集委員会ではそれぞれの生活を伺い、それを年代別にまとめてみた。又、それをもとに下記のような感想をいただくことができた。

男（計319名） 女

82名	74名	18名	77名	59名	9名
～29代	30代	40代	～29代	30代	40代



場所	年代	卒業より29才	30才代	40才代
授産施設	A	18	14	2
療護施設	B	7	15	2
デイサービス	C	89	13	
小規模作業所	D	21	11	2
就職	E	8	32	12
各種学校	F	4		
その他	G	12	48	9

### 平成6年度 総会のご案内

日時 平成6年6月12日(日)  
午後1時30分より  
場所 神戸市勤労会館



A 今回の調査のために本人やその家族の方々と話されましたが、その中で何か感じられたことがありますでしょうか。  
B 家族の方の協力で大学の聴講生になったり自分なりの生き甲斐を見つけているのを聞いて、積極的な生き方に感動しました。  
C パソコンや趣味を生かしてあれもこれもやりたいことがいっぱいあるそうですね。  
D それは四十代の方ですね。今の学校の子

### このゆびと〜まれ〜

#### 娘の自立

日高 美恵子

娘の身体に障害があると診断された時のショックは、ついこの間のことのように今も鮮やかに記憶の中にあります。その娘も今年には二十四才。「私ははじめからこうだったから、別にいいとは思わない。」と娘は言っていました。それを聞いて私は、複雑な気持ちでした。「だから、あなたはだめなのよ。何故もっと頑張ろうとしないの。」と口から出そうなる言葉を飲み込みました。それは、娘の優しい気持ちから出たことばであるからです。娘が心の底から今の自分に満

ちも達の状態を見ると自分自身で楽しみを見つけたせる人が何人いるかなと思います。昭和五十七年度卒業の人から重度重複が増えてきました。その頃から

F 四十代の方の両親といえはもう七十才になっておられますが、その頃の親と在校生の

G 親とはかなり意識に開きがありますね。肢体不自由児養護学校が友生しか無いとき卒業された方の親は、この子どもは私が...というのですが、今は学校も親は介

#### 閉鎖型から解放型へ

名誉会長 牧野 一夫

子供たちの障害は軽度から重度重複に変化した。初期の頃は重度軽度の差があったが一般に能力第一主義で普通校を目標に努力していた。子供の障害を少しでも良い方にと自分自身を顧みず、保護者はただひたすらその養育に没入していた。それに対し現代は一概に重度化して生きがいを得させる方へと変わってきている。親の力のみではどうすることも出来ず障害者のしあわせは多くの方々の協力を得て、との意識から普通児との交流も当然となった。子供を思う愛情に差があるわけではないが親自身もまた自己の幸せを求めつつ、ゆとりをもって子供と接することが出来ればと強く思うのである。

足しているなんて考えられませぬ。中学卒業時に、「十年後の自分」という作文に「やさしいお母さんになって欲しい」と書いてありました。同年代の女の子たちが抱いているような普通の夢をもっているのです。今、まさにお年頃、「デートにお母さん付きは恥ずかしいけれど、コンサートならいいでしょう。よろしく願います。」という娘。現実の厳しさ、つらさ、口惜しさを充分知っているようです。私は娘の健気なことををかみしめつつ、手さぐりながら娘が自分のやりたいことをみつけ、自分でいきっていく力を見つけてくれるよう、支えてやりたいと思っています。そして私が、その芽をつままないように心しなければと思っています。(ワークホーム明友 日高美恵子 母親)

H そのつければ卒業後に回ってきますよ。神樹の会が卒業後のために事業を手掛けてからは、小規模作業所とかデイサービスに通ったり、授産施設や療護施設に入所したりと神樹の会関係諸機関を利用している人がほとんどですね。

J それは家族が全面的に支えなければならぬ面が多くなってきたということではないかしら...。

K 昭和五十二年に六甲作業所が出来ましたが当時から見ると親も高齢になってきています。

L 四十代の人たちは就職している人、結婚して独立し家庭をもっている人がいる反面仕事をやめたり、施設から退所したり、又体調をくずしたりする人も多いですよ。就職している人もなんらかの形で親が手助けしているので生活の自立までは難しいですね。

N これから卒業してくる人もほとんどがデイサービス希望ではないかしら。

O デイサービスと作業所が両方兼ね備えた場があればいいですね。

A いろいろのご意見有難うございました。

#### 感謝!

平成五年十二月より平成六年二月までに次の方々から寄付を戴きました。感謝してご報告致します。  
石川 敬 橋 邦子  
山田 福松 村田建設株式会社  
大沼道路株式会社

あしたはなにが咲く？

とももつ

# 春の人事異動で

お世話に

なりました

恒例の春の人事異動により  
田中民生局長から喜旦局長に又、直接  
お世話になっていた育成課の伊達心障  
係長が、丸山学園園長として栄転された。  
そして友生養護学校では丸山教頭先生が宮本  
小学校に転出され小林教頭先生をお迎えした。又、  
去る三月一日に友生・垂水両養護学校の卒業生  
十七名は、それぞれの道に歩みだした。

民生局長として、二年間お付き合いをいた  
きました。今振り返れば、施策一つ一つに大  
きな想い出をもつ事ができ、充実した日を送  
事が出来ました。神樹の会会員の皆様のおかけ  
と感謝しております。特に皆様には、身体障害  
児・者の施策について、有意義なご意見をいた  
だきました。「障害者福祉計画」を着実に実の  
あるものにしてきた事も想い出の一つです。今  
後は、さらに充実に向け、お手伝いが出来れば  
と思っています。在任中いただきましたご協力、  
ご支援に心より感謝申し上げます。一層の発  
展を祈念しご挨拶とします。

はきだめに  
エンドウの花咲き  
どぶ池に  
ハスの花咲く  
人みなに  
美しき種あり  
明日 何が咲くか  
(作者不祥)

「いつまでも お元気で」  
前民生局育成課心障係長  
伊達 一美

●共同の生活舞台(まちづ  
くりや制度など)の上で、  
人は、その人独自の生  
活を創っている。協  
働と独自性の両方  
を大切に。

- \*東部デイサービス 吉岡伸晃(友) 山下道雄(友)
- \*明友なだデイサービス 船越 さおり(友)
- \*愛生園 市場昭如(友) 藤井引樹(垂)
- \*明友デイサービス 中野篤(垂) 山下祐介(垂)
- \*明友デイサービス 瀬口真智子(垂) 丸井健太郎(友)
- \*ダイエー株式会社 福岡徹(垂)
- \*二郎苑 成田典穂(友)
- \*皇陵園 中岡奈々(垂)
- \*大阪ビジネスカレッジ 富田直史(垂)
- \*ライフテイクア 佐藤栄男(友)
- \*ライオン 中山智則(友)
- \*つくしんぼの会 下原歌織(友)
- \*在宅 安井良一(友)



▲ 友生養護学校高等部卒業生



▲ 垂水養護学校高等部卒業生

## 忍耐力、回復力をもつて

神樹の会会長

水野 整一

春の人事異動で田中民生局長と伊達心障係長が  
それぞれ栄転されましたが、ご在任中たいへんお  
世話になりました。ありがとうございました。  
新しく社会人になられた卒業生の皆さん、おめ  
でとございます。みんなお互いに暖かい心優し  
い心で励ましあい助け合ってきました。今後も何  
かの厳しさ、苦しさはあるでしょうが屈すること  
無く再起しようとする忍耐力、回復力をつけて下  
さい。「箱根の山を越える人、籠で越す人、か  
つぐ人、その又わらじを作る人」という句が  
ありまが大勢の方の励ましや力添えを心  
に刻んでおきましょう。お世話になりま  
した関係諸機関の方々、厚くお礼申  
し上げます。どうか今後とも本会の  
発展のため尚一層のご支援ご協  
力をお願い申し上げます。

## 十年間を振り返って

藤井和信

約十年間垂水作業所に勤務させて戴き、  
大変有難うございました。その間、私に  
とって良い社会勉強をさせて戴いたと感  
謝しております。私の感想では、もう少  
し有給職員がいたらと思いましたが、しか  
し、その分お母さん方や地域のボランテ  
ィアさん方の協力で、大分作業所の運営  
や処遇も良い方向に向かっていると思  
われます。これからも宜しくお願いいた  
します。  
(前垂水作業所指導員)

## 事務局報告

\* 平成五年度より運営補助として六十  
万円を神戸市から戴くようになりました。  
\* 読売テレビ放送株式会社との二十四時  
間テレビチャリティ委員会から垂水作  
業所へリフト付き送迎車が贈られま  
した。  
\* 五年度中に次の会員の方々が永眠さ  
れました。  
山田勝子 下村和子 前田四郎  
牛村恵子 橋本いくの 木戸健介  
中川 武 長谷美波 沢田 健  
福田隆広

## 友生養護学校

退職

- 岡 康子
- 丸山 公
- 土井 真貴子
- 村山 正明
- 高橋 千鶴
- 丹羽 寛
- 辻 淳
- 木本 勝久

- 宮本小学校教頭
- 上高丸幼稚園
- 青陽東養護学校
- 浜山小学校
- 御影中学校
- 長峰中学校
- 神戸大学発達科学部
- 付属明石中学校
- 平野中学校
- 筒井台中学校
- 高羽小学校
- 神陵台中学校
- 本山南小学校
- 垂水養護学校
- 本山第一小学校

## 垂水養護学校

退職

- 左東 美穂
- 藤原 ツネ子

- 岸部 美知子
- 田中 君枝
- 常木 千恵子
- 武野 哲夫
- 岩田 さよ子
- 柴田 英男
- 前間 克彦

- 神陵台小学校
- 高羽小学校
- 筒井台中学校
- 平野中学校
- 付属明石中学校
- 神戸大学発達科学部
- 長峰中学校
- 御影中学校
- 浜山小学校
- 青陽東養護学校
- 上高丸幼稚園
- 宮本小学校教頭

## あとかき

会員の皆様、お元気で過ごして  
しょうか。今号は障害のある方の現  
状をまとめてみました。ご執筆いた  
だきました方々にお礼申し上げます。  
(辻野 田村 進元 小泉  
金沢 日高 西原 宮脇)